

Raymond Academy

レイモンド学園だより No35

2013年9月1日

「主の使いは、主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される。主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ、彼に身を避ける者は。」詩篇 34:7,8

10周年を迎えるレイモンド学園の歩みを振り返るとき、主のすばらしさを味わい、主のなされたことを見て、ひたすら主への賛美が絶えません。

現在最年長（高2）の生徒が編入したのは小4の時です。今から8年前。創立時に年長だった生徒は中3、年少だった2人も中1になり、生徒の成長と共に学校も成長しました。ある先輩教師が「生徒の数だけ祝福があり、問題もある」と言われました。その通りです。そして問題があるだけ主による解決があり、そのつど主の知恵と祝福が証しされてきました。成長と共に味わう痛みも辛さも、年齢分大きいように思いますが、私たちの回りに主の陣営が取り巻いていることを、霊の眼で見せて頂いています。

生徒の半分以上が中学生以上に成長しているため、4月には「いのちと性の教育セミナー」、7月に「個人伝道キャンプ（ゴスペルキーホルダーを使って）」を開催しました。共に初めての内容でした。特にゴスキーキャンプは家族、教会、地域の中で用いることが出来る、信仰のチャレンジとなる実践的なキャンプでした。いよいよ主の僕としても訓練が深まってきました。

児童から青年に成長し人格、品性、習慣が形成される貴重な時期を、主のみことばで教えられ、矯正され、整えられる事が出来るのはなんと尊いことでしょうか。悪魔は必死に戦いを挑み、働きを妨害し、成長の邪魔をします。どうぞ今後とも生徒の成熟、学校の整えるために続けてお祈り下さいますように、宜しく願いいたします。

学園長 伊東美徳

【報告】

4月11日（木）入学・始業式

崎山序主亜君が新一年生として入学しました。全校生徒19名でスタートです。



4月12日（金）「いのちと性の教育セミナー」

中高生と父兄対象に「確かな性意識を持つには」「家庭の中の性教育」と題して性に関するセミナーが行われました。現在日本全国で教会教育や、子ども、中高生、青年のために活躍中の藤田桂子先生（JCM）をお招きして、大変具体的で現実的な内容のお話を頂きました。生徒の教会の牧師先生、教会の方々もお招きして貴重な時を過ごしました。



5月10日(金) フィールド・トリップ 森永製菓工場

何人かの生徒のリクエストに応じて、念願の森永製菓に沢山の生徒で行きました。やはり食品系（しかもお菓子工場）の見学は楽しいです。



5月21日～6月1日 ISC in MISSOURI

猷仁先生率いる3人の生徒が今年も参加でき、人生が変えられるような素晴らしい時となりました。ギターで3位入賞、チェスで5位入賞、ピアノ、陸上、歌、写真で大活躍をしました。入賞するだけでなく、準備、自己管理、精神面、健康面、そして信仰面に、それぞれが神様のお取り扱いと恵みを個人的に経験し、大きな成長をしました。主に感謝です。



6月13日(木) 運動会

初めて土曜日以外に運動会を実施しました。これまでお借りしていた聖坂の体育館が生徒たちの成長によって、狭く感じるようになりました。そこで普段体育で利用している旭スポーツセンターを平日利用することで、全面を使用することが出来ました。週末に借りることが不可能なため、平日と言うことになりましたが、大変多くのご家族が参加して下さい感謝でした。



6月21日(金) オーナーロール・トリップ カップヌードル・ミュージアム

みなとみらいにあるカップヌードル・ミュージアムへ行きました。日本の誇る発明品インスタントラーメンの背景を学びつつ、Never give upの大切さを学びました。自分だけのマイカップヌードルやチキンラーメン作りを楽しみました。



7月8日(月) バasketボール対抗試合

ホームスクーラーのグループからの申し出で、中高生の生徒達が対抗試合をすることが出来ました。このために4月から体育の授業はバスケットボール中心に練習してきました。校外の人との交わりや、勝負に挑む等大変良い経験でした。結果は……



7月11日(木) フィールド・トリップ 生田緑地

自然豊かな川崎の生田緑地へ出掛けました。敷地内の岡本太郎美術館・科学館・日本民家園等を見学しました。噴水で濡れるのも、こんな暑い日にはとても気持ちが良かったです。



7月12日(金) 終業式

1年間の3分の1が終わりました。行事、学習とそれぞれ忙しい12週間でしたが、主が導いて下さいました。式では音楽クラブの生徒の発表、音楽クラスの笛の発表がありました。指導して下さいる先生方に感謝です。

【生徒のレポートより】

「情け深い」中学生

情け深いということばの意味は正しさが求めるよりも多くの親切を持って感じ、そして示すことです。エペソ 2:13 にこう書かれています。「しかし、以前は遠く離れていたあなた方も今ではキリスト・イエスの中にあることにより、キリストの血によって近い者とされたのです。」献仁先生はイスラエルの話をして下さいました。

イスラエルはパレスチナからテロ攻撃を受けていました。その対策のために、彼らはパレスチナとの境界線に壁をたてました。そのためにパレスチナの人々は仕事が少なくなり、多くの人が困難を受けました。その行為について世界の多数の人から非難を受けています。

イスラエルがパレスチナとの間に壁を立てたように、ユダヤ人達はクリスチャンとの間にも心の壁をたてました。その理由は過去にユダヤ人がイエス様を殺したとしてクリスチャンから迫害されてきたからです。だからユダヤ人がクリスチャンや教会のことを受け入れなくなりました。

僕たちは人生の中で必ず自分が嫌いで受け入れられないと感じる人と出会います。しかしその相手を変えることは不可能です。またそれは神様の御心ではありません。僕がすべきことは祈って自分自身を神様に委ねることです。そして自分自身が変わらされたら、その相手も自分に心を開いてくれるかもしれません。人の心の中にある壁を壊すことが出来るのは、イエス様だけです。僕もイエス様の愛にならって人間の目から見て正しいことを求めるだけでなく、隣人に親切にし、情け深いという性質を表していきたいです。

【お知らせ・祈りのリクエスト】

- * 伊東実結さん（中学3年生）が9月2日より11月27日までメキシコ・グアダラハラ（Guadalajara）のACEスクールに短期留学することになりました。良い経験となりますようにお祈り下さい。
- * ACEセミナーが11月4日に開催されます。今年は北海道以外の日本全国からACEスクールスタッフが集合する予定です。阿部先生、献仁先生、美穂先生が講師です。
- * 11月9日に学園祭が行われます。準備と、委員会の生徒3名のためにお祈り下さい。（沖田果菜、齋藤航大、高橋陸）
- * 今年度最後の終業式の後、10周年記念会を開催する予定です。諸準備のためにお祈り下さい。ゲストスピーカーは阿部和子先生です。（3月13日）

